学校番号	３２６

令和８年度　音楽科

教科	音楽(専)	科目	ソルフェージュ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

■保育系・幼児教育系の専門学校、短期大学、大学進学者向けの、音楽の基礎能力のトレーニングを行います。
■学習の到達度は、実技テスト、筆記テスト、ワークシート、授業への取り組みで評価します。
■ソルフェージの授業では、「音」に静かにじっくりと耳を傾けることが大切です。そのことにより、音程を正しく聴き取ったり演奏することができるようになり、ソルフェージュの能力が向上します。
■高等学校卒業後、保育系・幼児教育系の進路に進む際に、ソルフェージュの授業で学習したことが基礎力となり、進学先での学習にスムーズに入っていけるよう懸け橋になることを目指しています。

2　学習の到達目標

ソルフェージュに関する学習を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、専門的な音楽に関する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1)視唱、視奏及び聴音に関する知識や技能を身に付けるようにする。
(2)音楽を形づくっている要素の働きやその効果などに関する思考力、判断力、表現力等を育成する。
(3)音楽性豊かな表現をするための基礎となる学習を大切にする態度を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・音楽を形づくっている要素を正しく読み取り、それを歌唱や楽器で演奏することができるようにする。（視唱・視奏） ・音楽を形づくっている要素を正しく聴き取り、それを記譜することができるようにする。（聴音）	楽譜を見て、旋律、フレーズのまとまりなど様々な情報を読み取ったり、音や音楽を聴いて、音高、リズム、音程などを正しく把握しながら、音楽を形づくっている要素の働きや効果などについて、思考・判断し、表現することができる。	ソルフェージュの学習に興味・関心を持ち、主体的・に視唱、視奏、聴音の学習活動に取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元の評価規準	主な評価の観点		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	視唱	基本的な視唱 4小節 ハ長調	a. リズム・音高を正しく歌うことができる。 b. 楽譜を見て、音楽を形づくっている要素を把握しながら、思考・判断し、表現することができる。 c. 意欲的に歌い、主体的に学習に取り組もうとしている。	演奏の聴取	演奏の聴取 ワークシート	観察 ワークシート
		応用的な視唱 8小節 イ短調 ト長調 ヘ長調 ホ短調 ニ短調	a. リズム・音高を正しく歌うことができる。 b. 楽譜を見て、音楽を形づくっている要素を把握しながら、思考・判断し、表現することができる。 c. 意欲的に歌い、主体的に学習に取り組もうとしている。	演奏の聴取	演奏の聴取 ワークシート	観察 ワークシート
	聴音	基本的な聴音 4小節 ハ長調	a. 旋律を正しく聴き取り記譜することができる。 b. リズム・音高などを正しく把握しながら、見やすく記譜することができる。 c. 意欲的に音を聴取し、主体的に学習に取り組もうとしている。	筆記テスト	筆記テスト ワークシート	観察 ワークシート
		応用的な聴音 8小節 イ短調 ト長調 ヘ長調 ホ短調 ニ短調	a. 旋律を正しく聴き取り記譜することができる。 b. 調号や臨時記号に気をつけながら旋律を正しく把握し、見やすく記譜することができる。 c. 意欲的に音を聴取し、主体的に学習に取り組もうとしている。	筆記テスト	筆記テスト ワークシート	観察 ワークシート
2学期	視唱	2声の視唱 2声の旋律を二人で視唱する。	a. リズム・音高を正しく歌うことができる。 b. 楽譜を見て、音楽を形づくっている要素を把握し、相手の歌声をよく聴きながら、思考・判断し、表現意図をもって演奏することができる。 c. 意欲的に歌唱し、相手と協働的に学習活動に取り組もうとしている。	演奏の聴取	演奏の聴取 ワークシート	観察 ワークシート
	聴音	2声の聴音など 簡単な2声の聴音 和音の聴音	a. 2声の旋律を正しく聴き取り記譜することができる。 b. 2つの旋律それぞれのリズム・音高などを正しく把握しながら、見やすく記譜することができる。 c. 意欲的に音を聴取し、主体的に学習に取り組もうとしている。	筆記テスト	筆記テスト ワークシート	観察 ワークシート

	視奏	簡単な視奏 応用的な視奏	a. リズム・音高を正しく読み取り演奏することができる。 b. 楽譜を見て、音楽を形づくっている要素を把握しながら、思考・判断し、表現意図をもって演奏することができる。 c. 意欲的に演奏し、主体的に学習に取り組もうとしている。	演奏の聴取	演奏の聴取 ワークシート	観察 ワークシート
3学期	視唱・視奏	歌・器楽を含んだ視唱・視奏によるアンサンブル	a. 音楽を形づくっている要素を正しく読み取り、それを歌唱や器楽で演奏することができる。 b. 楽譜を見て、音楽を形づくっている要素の働きや効果を知覚するとともに、他者の演奏を聴きながらそれにふさわしいアンサンブルを工夫し、表現意図をもって演奏している。 c. 意欲的に歌唱・演奏し、仲間と協働的に学習活動に取り組もうとしている。	演奏の聴取	演奏の聴取 ワークシート	観察 ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　　b:思考・判断・表現　　c:主体的に学習に取り組む態度